



■使用評価マニュアル：CASBEE柏2014年版

（使用評価ソフト：CASBEE柏2014(v.1.22)）

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	GLP柏IIプロジェクト	階数	地上4F		
建設地	千葉県柏市沼南中央土地区画整理	構造	S造		
用途地域	市街化区域	平均居住人員	162 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2016年1月6日		
敷地面積	17,440 m ²	作成者	JFEシビル(株) 中小路俊幸		
建築面積	8,653 m ²	確認日			
延床面積	33,121 m ²	確認者			

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B': ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超 ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0
音環境: 3.0, 温熱環境: 2.0, 光・視環境: 3.0, 空気質環境: 2.8	機能性: 3.7, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.4	生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4
建物外皮の: 4.2, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.4, 非再生材料の: 2.8, 汚染物質: 4.0	地球温暖化: 4.2, 地域環境: 3.1, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>敷地の約1/4を保存森林帯とし、周辺環境に配慮した配置・植栽計画を行う。 エネルギー効率の良い設備計画により環境負荷の低減に配慮した計画を行う。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>外壁と間仕切りの一部を断熱し結露防止に配慮する。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>部屋の広さと階高設定に余裕もたせてゆとりある空間とする。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>樹木保存森林帯を敷地の26%もつことで自然環境に配慮する。 道路に面する部分には沿道緑地を設け、周辺と調和する計画を行う。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>省エネルギーに配慮した高効率機器を採用した。 1. 全館LED照明の採用 2. 高効率空調機器の採用 (平均COP = 3.24)</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>屋根、外壁の断熱性能を確保し、熱負荷の少ない空間とした。 (BEI=0.88)</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>施設利用者のための駐車・駐輪スペースを十分に配置した。 雨水貯留槽を設け、敷地外への雨水抑制に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

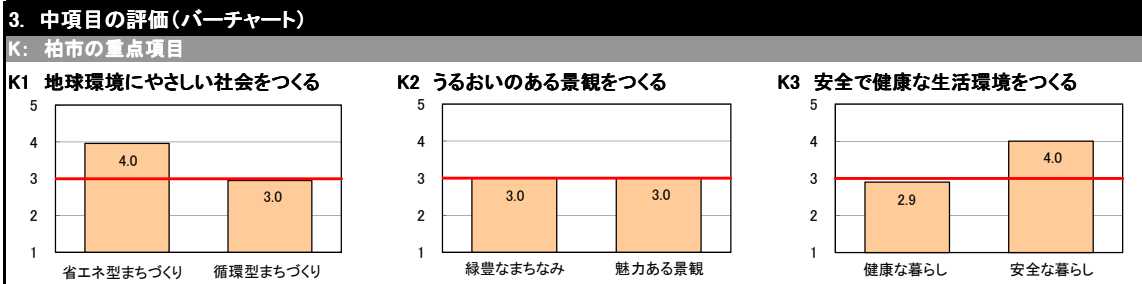


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.1.22)

1 建物概要			
建物名称	GLP柏IIプロジェクト	建築物の環境効率 (BEEランク)	A ★★★★★

2 重点項目への取り組み度			
重点項目	取り組み度※(得点/満点)	評価結果	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.4 / 5.0	ふつ	
K2 うるおいのある景観をつくる	3.0 / 5.0	ふつ	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.4 / 5.0	ふつ	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	素晴らしい 4点以上	ふつ 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>外壁、屋根の断熱性能を確保し、省エネルギー型の設備機器を採用した。</p> <p>雨水貯留浸透槽(425.2m3)を設け周辺環境に配慮した。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 4.2 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 5.0 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 2.8 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 3.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>敷地の25%以上を市の保存森林帯とし、自然環境を考慮した計画を行った。</p> <p>前面道路沿いに芝・低木等の沿道緑地を設けることで近隣への配慮を行った。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 3.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>倉庫トラックベース部分の排気などを考慮した給排気位置の設定、十分な隔離を確保し室内空気質環境に留意した。</p> <p>建物外周開口部等に防犯センサーを設置するとともに監視カメラを設けて防犯性に配慮した。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 2.8 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 O